

佐々木心 委員

自由民主党の佐々木心であります。

庄司会長、質問によっては資料の提示も行いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成 27 年度一般会計・特別会計の歳出第 2 款総務費第 4 項選挙費について伺います。

2014 年、衆議院選挙青葉区、票の水増し問題から調査特別委員会を立ち上げ、課題、問題点を認識し、適正に行われることを期待しまして昨年行われた仙台市議会議員選挙、宮城県議会議員選挙であります。残念ながら仙台市議会議員選挙では、泉区のポスター掲示番号のミスや仙台市選管のホームページ開票速報の不帰の票と二重配付等のさまざまな問題を残しました。また、宮城県議会議員選挙においては、太白選挙区で選挙結果の確定が予定の時間より大幅におくれ、終了した時間が投開票日の翌日の午前 4 時 45 分になった問題、当区選管の事務局長は当時の取材に対し、皆様の票を預かり、適正に開票する立場として大変恥ずかしいと対応したとお聞きしました。

その後の対応を含め、今回伺うのは、本年 7 月に行われた参議院選挙についてであります。その選挙でもさまざまなミスがありました。宮城野区選管では、区役所の期日前投票所で選挙人名簿に未登録の男性に投票用紙を誤って渡す、また青葉区選管では、アエルの期日前投票所で、投票権を持つ女性に、選挙人名簿にないと誤って案内をするなどのことが起こりました。

そこで、改善対応を求める開票事務作業と、新たに行った本市における 18 歳選挙権の対応について伺います。

まず初めに、開票事務作業であります。参議院選挙における仙台市内各 5 区の選挙区及び比例区の開票終了予定時間をお聞きします。

選挙管理課長

参議院選挙におきます選挙区選挙と比例代表選挙の開票終了予定時間でございますが、選挙区選挙につきましては、青葉区は午前 1 時ちょうど、宮城野区は 0 時 15 分、若林区は 0 時ちょうど、太白区は 0 時 30 分、泉区は 0 時 30 分の予定でございました。

比例代表選挙の開票終了予定時間は、五つの区全て午前 3 時の予定でございました。

佐々木心 委員

各区開票終了予定時間をお聞きしました。

各区の実際の開票終了時間、同じく選挙区及び比例区の時間をお聞きいたします。

選挙管理課長

まず、選挙区選挙でございますが、青葉区は午前 1 時 24 分、宮城野区が 2 時 49 分、若林区が 1 時 15 分、太白区が 1 時 2 分、泉区が 0 時 50 分でございました。

比例代表選挙でございますが、青葉区が午前 7 時 13 分、宮城野区が午前 5 時 1 分、若林区が午前 4 時 58 分、太白区が午前 5 時 13 分、泉区が午前 4 時 28 分でございます。

佐々木心 委員

それでは、最大の開きのあった時間、乖離のあった時間は何時間になるか、それが何区で行われた選挙なのかをお伺いいたします。

選挙管理課長

開票終了予定の時間と実際の終了時間との差でございますけれども、選挙区の選挙におきましては宮城野区で2時間34分のおくれ、比例代表選挙では青葉区の4時間13分のおくれとなります。

佐々木心 委員

比例においては4時間以上の開きがあったということで、要は終了の予定時間の認識が甘いんじゃないのかなというふうに思います。

そもそも比例区においては、終了予定時間を3時にした根拠、また、いろいろシミュレーション等を行ったと思うんですが、その点について、どのような根拠で終了時間を決定したのかをお伺いいたします。

選挙管理課長

各区の選挙管理委員会におきまして、過去の同一の選挙における開票実績であったり、あと現在の事務マニュアルのもとでの作業手順を加味するなどして開票終了予定時間を設定してございます。

特に今回、参議院議員選挙は複数の票を扱う選挙でございまして、昨年度執行した市議会議員選挙、あと県議会議員選挙とは手順も異なる部分があったので、事前の開票シミュレーション等も行いながら開票終了の予定時刻を見込んでいたところでございます。

佐々木心 委員

いろいろシミュレーションを行って決定したということを確認いたしました。

またここで、仙台市選挙事務不適正処理再発防止委員会が平成27年4月24日に提出した不適切な開票事務に係る再発防止のための提言を読ませていただきました。そこで、提言の基本的な考え方で、五つの観点を重視しなければいけないとありました。一つ、選挙事務は正確性を第一とする。二つ、ミスの抑制策を徹底すること。三つ、ミスは起こり得るものと想定し、その対処策を定めておくこと。四つ、選挙事務は市職員の職務であると認識すること。五つ、選挙事務について市民の理解を得るよう努めること。いずれも非常に重点な項目であると認識します。また、このように提言されている中で、3のミスは起こり得るものと想定し、その対処策を定めておくと思いますが、まさしく、どうしても人が行う事務作業でございますので、ミスが起こるのは私は仕方がないと思っております。ミスが起きた後、どのように速やかに対応するかが重要かと思っておりますので、ミスを想定するとして、開票予定時間を長く見ていればそんな開きがないのではないかなというふうに認識しますが、選挙管理委員会の御認識はいかがかお伺いいたします。

選挙管理課長

選挙結果につきましては、選挙人に速やかに知らせよう努めなければならないという公職選挙法の規定もございまして、選挙管理委員会といたしましては、ミスやトラブルの発生のない開票作業を迅速に進めた上で、開票終了予定時間を定めるということが求められていると認識をしております。

佐々木心 委員

次に、開票立会人について伺います。開票立会人の方々に開票の終了予定時間というのは何時で御案内していたのかをお伺いいたします。

選挙管理課長

開票立会人の方には、開票開始前に開票立会人の役割であったり業務内容を事前に説明すると、そういう場面で、区ごとには異なりますが、選挙区選挙と比例代表選挙それぞれの開票終了予定時間をお知らせしております。例えば太白区におきましては、選挙区選挙では0時30分ごろ、比例代表選挙では午前3時ごろの見込みというふうに御案内をしておりました。

佐々木心 委員

開票立会人の方々にも同じ終了時間を伝えているということ。前段でも質問させていただきましたが、比例代表選挙においては4時間以上の開きがあるわけでありまして。開票立会人の方、御自分で申請をして、選挙管理委員会のほうから当日認められてということで、その日伺いをするわけでありまして、4時間もおくれるというのは本当に問題だと思うんですね。青葉区については翌日朝7時ですからね、開票立会人の方、仕事を持っている人もいますし、3時終了予定で来ているということもありますので、その辺について、全くもってその方々に対して注意喚起を図っていないというのが非常に問題だと思いますが、その辺どのように御認識されているのかをお伺いいたします。

選挙管理課長

今回の参議院議員選挙の開票の開始前の立会人の方への説明におきまして、そのあたり十分な御説明がなかったというふうなことかと思えます。

今後は、開票作業の進捗状況によっては開票終了時間が予定より遅延するということがあり得るということもあらかじめ十分に御理解いただいております。

佐々木心 委員

本当に必要だと思いますので、次回のときからは速やかに対応をよろしくお願ひしたいと思います。

今回の選挙で、今後の検証のために事務作業におけるヒヤリ・ハット集、危なかったよという作成集をつくるというふうに伺いました。具体的にどんな内容で、今現状どんな進捗で進んでいるのかをお伺いいたします。

選挙管理課長

これまでの選挙事務改善の取り組みにおきまして、本市において実際に発生したミス事例をミス事例集という形でまとめまして、各種研修に活用すると。それによってミスの発生状況であったり、どんなことに注意すればミスが防げたかということを実際の事例で感じていただいて、緊張感を持って事務に従事していただくというようにしてまいりました。

これに加えて、ヒヤリ・ハット事例集でございますが、実際のミスやトラブルには至りませんでしたけれども、その危険性があったと認められる事例を取りまとめまして、今後のミス、トラブルの未然防止のため、また事務マニュアルの改善であったり研修等に活用していきたいというふうに考えております。ただいま区の選挙管理委員会にそのような事例の掘り起こしをさせているところでございまして、大体年内くらいを目途に取りまとめをしようというふうに考えてございます。

佐々木心 委員

いろいろな予備段階とかそういったところも記載するというところでございましたので、つくった作成集を今後に生かせるように早目に作成して、次なる選挙に向けて備えていただければというふうに認識をいたします。

次に、今回の選挙は18歳選挙権も注目されました。本年の第1回定例会でも伺いましたが、事前の広報活動等の成果を含め予算組みをされておりましたので、まずは18歳と19歳のそれぞれの投票率を伺います。

選挙管理課長

参議院議員選挙における本市の全体の投票率がまず52.04%でございましたが、このうち18歳の方については51.77%、19歳の方が41.89%でございました。

佐々木心 委員

今、御答弁いただいたとおり、我々も18歳というふうに言っていて、実は19歳の方が10%も落としているんですね。これはやっぱり大きな問題なのかなというふうに思っておりました。18歳に対する広報とか選挙に行く呼びかけというのは一定の努力というか、そういったところは評価をするところであります。

18歳の陰に隠れてしまって19歳の方々、また低年齢層に対する今後の継続したアプローチ、要は19歳、若い人たちというのがどこに大体いるのかということも含め、高校や大学、予備校などにどのように対応していくかが大きな課題となったと認識いたします。そういったことを踏まえ、改めて低年齢層の方々にどのように広報活動を行っていくのかをお伺いいたします。

選挙管理委員会事務局長

低年齢層に対するアプローチでございますが、投票率の低下傾向が続く中、特に若年層の投票率向上が課題となっております。

今後につきましては、昨年度から実施している高校での選挙出前授業の拡充や大学生などに対する啓発の機会を拡大し、若い世代に政治への参加や選挙の重要性を理解していただく。また、選挙時には投票立会人を大学生に委嘱したりと、若い世代を中心とした有権者が主体的にかかわるような啓発活動を進めるなど、若い世代に選挙に行こうという意識が定着するように、若年層の発想を取り入れた新たな視点からの取り組みを進めていく考えでございます。

佐々木心 委員

継続して本当に啓蒙していくことが大事というふうに私自身も認識しておりますので、引き続きの御努力をよろしく願います。

最後になりますが、今後本市で行われる予定の選挙は、来年行われる仙台市長選挙であります。そこで、昨日の地元紙でも投票日の変更を検討しているとありました。その実現性、要は投票日を日曜日から土曜日に変更した場合の費用負担、またメリット、デメリットについて伺います。

選挙管理委員会事務局長

投票日を土曜日に変更し、日曜日の午前中に開票を行うという案は、市選挙管理委員会において、開票におけるミス、トラブルの防止を目的として提案されたもので、選挙執行経費の具体的な見込みや実施する場合のメリット、デメリットなどの検討はこれから行うことにしております。

土曜日が投票日になることで、有権者の皆さんの生活実態や勤務実態などから投票に支障があるのかどうか、日曜日の投票ということが定着している中で混乱しないかどうか、こうした有権者の視点に立ってどうなのかということが最も重要であると考えております。また、経費面や事務従事者の確保など、事務執行上の問題なども含め、多様な観点から課題整理を行っていくこととしており、選挙管理委員会において十分な御議論をしていただけるように準備を進めてまいる考えでございます。

佐々木心 委員

本当に土曜日に変更するということであれば、当然、今、御答弁いただいたとおり有権者が第一ということをくれぐれも履き違えないように。正直、今は情報が豊かになっております。選挙期間中、候補者はいろいろなところで発信しておりますけれども、期日前投票も右肩上がりになっている状況でございますので、投票日を土曜日に変更するというふうに決定したならばいち早く告知していただいて、あとは今、メリット、デメリットについて検証するということをお伺いしましたけれども、これについてもいち早く検証をしていただくことをお願い申し上げます。

開票事務は、その1票1票が市民の皆様からいただいた貴重な民意であり、開票作業はルールを厳格に守り、公正、的確、かつ迅速に行う選挙は民主主義政治の基盤をなしていることをお伝えして、私の決特トップバッターの質問を終わらせていただきます。